

TPチャート作成ワークショップ

TPチャート作成 進行表

経過時間	所要時間	番号	カテゴリ	内容2	ワーク	備考	コメント
0:00	0:05	1	トップページ	目次		開始時間遅れのバッファ込み	席・資料確認
0:05	0:04	2~5	はじめに	自己紹介、目的・目標の確認			
0:09	0:07	6~10	TPとTPチャート	TP			TPやTPチャートについて知っているかどうか聞いてみる
0:16	0:03	11,12	TPチャートの作成	作成のルール		ふせんの説明	ただし、都度使うふせんについては指示するからと補足
0:19	0:03	13		作成目的	2min		
0:22	0:07	14		教育活動	5min		特に授業科目以外の活動例をあげる
0:29	0:03	15		改善・努力	2min	改善・努力と成果・評価はあわせて合わせて説明とワークをしてもよい	TPチャート作成研修参加も改善の項目になる
0:32	0:04	16		成果評価	3min		教育業績を残す文化がまだ、日本にはない
0:36	0:12	17,18		シェア1 自己紹介と普段の活動	4min*2	ペア4分*2 アイスブレイクも兼ねる、所属・専門も紹介しあう	ペアを組むのに時間かかることを見込む
0:48	0:08	19		方法	7min		例を参加者から募る
0:56	0:08	20,21		方針	7min		
1:04	0:08	22		理念	7min		
1:12	0:04	23		理念個人エピソード	2min		
1:16	0:03	24		対応付	5min		今度は理念から、方針・方法への方向で一貫性を確認する。おしていれば、ここは2-3分に短縮。
1:19	0:15		休憩				休憩は、1時間半をすぎず前のタイミングでとる。おしそであれば、10分の休憩とする
1:34	0:12	25,26		シェア2 理念と方針方法	4min*2	ペア4分*2	
1:46	0:02	27		更新の反映	2min		
1:48	0:02	28,29		エビデンス	3min	解説と作業	貼れなそうなところを見つける
1:50	0:12	30,31		シェア3 エビデンス	6min	ペアまたはグループ	一人では貼れなかったところについて、エビデンスを考える。エビデンスをとることが目的化しないようことを補足説明。時間があればグループ、なければペア、全体で質疑応答を受ける
2:02	0:05	32~34		目標	5min		短期目標3分、長期目標2分 短期目標は各所に青い付箋ではる。長期目標は枠囲みの中。下層に短期目標を構造化できたらする
2:07	0:03	35		感想	2min		当初の目的のふりかえりと作成後の感想
2:10	0:12	36~37	シェア4	シェア4 目標と感想	4min*2	グループ2分*4	1人2分程度時間を区切る こも時間次第ではシェアをペアに変更する
2:22	0:06		まとめ				メンター体験もしたこと、TPチャートの更新、参考資料説明など
2:28	0:02	2分バッファ					
2:30							

TPチャート作成ワークショップ
セッション2 チャートを見直す 進行表

経過時間	所要時間	番号	カテゴリ	内容2	ワーク	コメント
10:00	0:10		トップページ	目次		
10:10	0:12		TPチャートを見直す意義			
10:22	0:03		質問1,2,3 なぜその理念が大事なのですか あなたにとって○○とは何ですか ○○と△△はどのような関係ですか？	説明		
10:25	0:05			自問自答	5min	ひとりで
10:30	0:18		ピアレビュー		8min*2	ペアで
10:48	0:05		全体での共有・質問をうけつける		10min	全体で
10:53	0:10		休憩			
11:03	0:07		質問4,5 その方針で理念を実現できますか その方針と理念はどう関係していますか	説明		
11:10	0:05			自問自答	5min	ひとりで
11:15	0:17		ピアレビュー		8min*2	ペアで
11:32	0:10		全体での共有・質問をうけつける		10min	全体で
11:42			授業改善のデモ			

13:00	0:10		デモ			
13:10	0:20		一人目			
13:30	0:20		二人目			
13:50	0:10		休憩			
14:00	0:20		三人目			
14:20	0:20		四人目			
14:40	0:10		全体			
14:50	0:10		まとめ			
15:00						
15:00						